



たづがね

(鵠が音)

2月28日発行

「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子

2月22日(木)は、「6年生を送る会」を開催しました。児童の元気な姿に笑顔が溢れる時間を保護者の方、そして、地域の方と共に持つことができました。緑の少年団・鼓笛の引き継ぎ式も同じ場で実施され、バトンが受け継がれた日になりました。そして、PTAから卒業記念品の目録が手渡され、節目の行事を無事終了できたことは大変嬉しいことです。



日頃の御礼の気持ちを込めて感謝の会

「6年生を送る会」と同日に「感謝の会」を食堂で実施しました。1月1日は、同じ食堂が避難者で埋め尽くされていたことを思うと同じ場所で、1月26日の学校説明会、そして地域の方へ児童の気持ちを届ける感謝の会を実施できたことが、いかにありがたいことか感慨深いものがありました。

学校に関わってくださる大人の方は、児童の成長を楽しみにし、自分事のように喜んでくれます。児童は、日頃守られていることだけでなく、自分たちが頑張っただけで大人を笑顔にしていることに気づけたと思います。地域の方を代表して上甘田公民館長の泉さんから児童に向けて力強いお言葉を頂きました。



6年生が手作りしたコースターを手渡しました。

その中に「子どもは、地域の宝」という言葉がありました。児童の元気な姿が大人に多くのエネルギーを与えていることを児童が感じる良い機会でした。児童は、これからも前向きに元気いっぱいに活動していくことと思います。

地域の方・保護者の方、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

6年生の児童一人一人にプレゼント

・土田敏勝様から下記の「切り絵」が贈られました。



・架谷成美様からマーカーセットが贈られました。



千崎さんにいけて
いただいています。
す。心が和みます。

「税に関する絵はがきコンクール」
七尾法人会青年部会長賞
6年 濱田 純斗